

# Sankka

讃歌  
冬号

京都九条病院 Communication Book

◎特集 電子カルテシステム

電子カルテシステムの導入で  
情報の共有・伝達がスムーズになり、  
医療の透明性がより確保されました。

京都九条病院の  
新しい受付・会計システム

◎「Lunitケシヨン」広場

- 知つててよかった「お薬豆知識」講座(第22講目)
- 地道にコツコツ「健康運動」講座(第1講目)
- ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第39弾)
- 私の病院自慢あれこれ(第39回)

◎院内散策(31)

○第10回 京都九条病院  
病診・病病連携セミナー



副院長、  
脳神経外科主任部長 榎原毅彦



院長 山木垂水

vol.39  
2016 Winter  
冬号

電子カルテシステムの導入で  
情報の共有・伝達がスムーズになり、  
医療の透明性が  
より確保されました。



電子カルテ画面

京都九条病院 副院長  
脳神経外科主任部長

榊原 毅彦

Takehiko Sakakibara



京都九条病院では、さらなる

医療サービスの向上とより安全な医療の提供を目指して、平成27年10月より「電子カルテ」の運用を開始しました。

この電子カルテ運用は、院内でのさまざまな医療サービスの質の向上に繋がっています。

まず外来では、カルテを移動させる必要がなくなったことで業務が効率化され、患者さんの待ち時間が短縮されましたし、病棟でも情報の共有・伝達がスムーズになりました。

入院患者さんの情報を調べる場合など、これまでは各医療スタッフがその患者さんの入院しておられる病棟のナースステーションに行つてカルテを閲覧する必要があったのですが、「電子カルテ」には患者さんの情報が全て入っていますので、どの科の医療スタッフもパソコンからその患者さんがどのような治療を受け、どんな薬を服用しているかなどを瞬時に知ることが出来ます。知りたい情報をすぐに得られるので、格段に効率がよくなりました。

看護スタッフが病棟で看護を行う時も、ベッドサイドにパソコンを持って行き、測定した血圧や体



各病室のベッドサイドまで電子カルテを移動することで、患者さんお一人おひとりの状況把握した看護において役に立っています。



温などの数値や看護記録をその場で書き込むので、患者さんとのやり取りなども詳しく正確に記録することができるようです。さらに、患者さんから「次の検査はいつ?」「自分が飲んでるのは何の薬?」など質問された場合も、直ちに答えることができますので、患者さんお一人おひとりへの対応の向上にも役立っています。

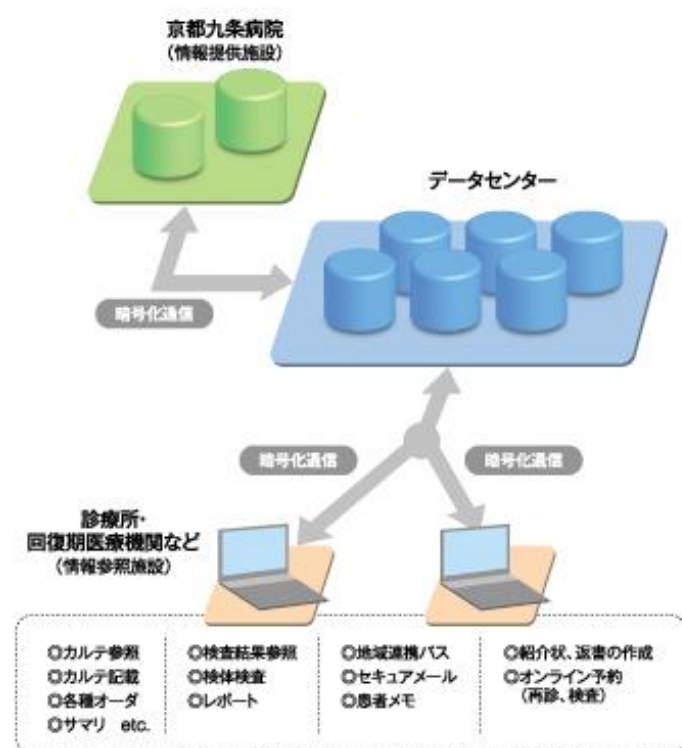
病棟での診療行為におけるリスクマネジメントのプロセスでも大いに役立っています。輸液・薬剤を投与する際、看護師の目視確認等の人的確認作業は従来通り行った上で、実施する患者さんと輸液・薬剤などとの照合に「電子カ

ルテ」と連動したバーコード照合を用いることでダブルチェックができ、より安全性が向上しています。診療に関わる情報は全て電子カルテに集約されていますので、医療の透明性が確保され、それが京都九条病院の医療サービスに対する一層の信頼に繋がるものと考えています。

さらにこの4月からの運用に向けて「電子カルテ」を活用した地域連携システムの整備を行っています。

このシステムが整備されれば、患者さんを紹介して下さった近隣の医院・診療所の先生に、その患者さんが当院で受けられた治療内容(電子カルテ)をインタ





インターネットを利用して閲覧していただくことが可能になります。

「電子カルテ」の開示は、主治医である医院・診療所の先生と、当院との間での治療の連続性を図ることを目的としたもので、患者さんが退院され、元の医院・診療所での治療に戻られるに当たって、当院で行った検査・手術・治療内容を正確、且つ詳細に把握していただくことができます。また、閲覧していただいた「電子カルテ」の内容についての質問等もシステム上で行っていただけます。

この「電子カルテ」の開示は、厳重なセキュリティ対策を施したデータセンターを通じて、システムにご登録いただいた医院・診療所の先生に対してのみ行うものです。今後は、紹介状のやり取りや患者さんの受診・検査の予約等もインターネットを利用して行うていただくことができますよう、さらに整備を進めてまいります。システムへの登録を希望される先生にはご説明に伺いますのでぜひご検討ください。

## より安心安全なお薬使用のための3つの変化

～電子カルテシステム導入を機に～

京都九条病院 薬剤部部長 友沢 明德

薬剤部門では、電子カルテ化を機に、お薬での治療をより一層安心安全に受けていただけるようシステム改善を行いました。患者さまから見える主な変化を三つ紹介します。

一つ目は、安全確認3点認証システムです。注射(点滴)や輸血の実施時に看護師がパソコンをベッドサイドに持ち込み、専用の器具でバーコードを読み取るようになりました。①リストバンド、②注射ラベル、③電子カルテシステム、3点の情報を照らし合わせ、患者さまに正しい内容の注射が正しい日時に実施されるよう確認する仕組みです。一か所でも違えば電子カルテ画面に「×」が表示されます。看護師は「○」の表示を確認しない限り実施しません。外来での化学療法や輸血も同じです。これまで通り目でも確認しますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。



ID番号記載リストバンド



二つ目は、院外処方箋です。まず、お薬の取り違えリスクを減らすために、名称が紛らわしい薬については、薬品名の前にも成分量や包装の数字を付けたり、数字や剤形の前に空白を入れたり、区別しやすくしました。次に、処方箋FAXコーナーを新設しました。京都府下大半の薬局が登録されており、タッチ画面の簡単な操作で送れます。これにより確実にかかりつけ薬局に届き、待ち時間短縮にもつながります。診察券にかかりつけ薬局を登録するとよりスムーズにご利用いただけます。

三つ目は、お薬の説明書です。QRコード(四角い白黒のまだら模様)を電子版お薬手帳アプリで読み取れば簡単にスマートフォンに登録できるようになりました。東日本大震災では、大半の診療情報が失われる中、お薬手帳をお持ちの方は今までと同じ薬を受け取ることができました。電子版では、ご家族が管理したり、希望によりサーバーに情報を預けることもでき、紛失時にも安心です。当院ではお薬手帳の情報をお預かりして安全管理に活用すると共に、退院時には患者さま自身の安心安全なお薬管理に役立つ情報を貼付けてお渡していますが、新しいお薬説明書を使って電子版お薬手帳も併せてお試しください。



おくすり説明書

電子版お薬手帳アプリ

※くわしくは、京都e-お薬手帳案内サイト <http://kyotofuyaku.or.jp/e-techo/index.html> をご覧ください。





正面玄関を入ってすぐに設置された「自動再来受付機」は、タッチパネルで受付操作も簡単。

電子カルテシステム

## 京都九条病院の 新しい受付・会計システム

当院では、電子カルテシステムの導入に伴い、「自動再来受付機」「自動精算機」「会計表示盤」「院外処方箋FAX機」の運用を開始しました。このシステムによって受付手続きの簡便化、精算待ち時間の短縮が図られますので、患者さんの負担軽減にも繋がるものと考えております。

患者さんにご不便をおかけしないよう総合案内(ゲストリレーション)が操作方法や手順をご案内させていただきますので、どうぞ安心してご利用ください。

### 「自動再来受付機」で 受付が簡単に！

昨年の10月より、予約にて外来に再来受診された場合には、総合受付カウンターの前に設置してある青色の受付機「自動再来受付機」をご利用していただくシステムになりました。

これまでは、総合受付カウンターで受付を済ませていただいた後、職員がカルテを各科まで届ける

時間が必要でしたが、これからは「自動再来受付機」に診察券を挿入し、発券される受付票と診察券を総合案内(ゲストリレーション)に渡すだけで受付は終了。すぐに本日の診療予定と診察券の入ったファイルをお渡ししますのでそれを持って診察を受けてください。なお、初診の方、予約のない方は従来通り、有人の総合受付カウンターまでおこしください。



本日の診療予定

### 「自動精算機」 「会計表示盤」で 待ち時間が短縮！

診療費のお支払いも会計カウンターの窓口ではなく、「自動精算機」でお支払いいただけます。受診終了後、会計カウンターに本日の診療予定と診察券の入ったファイルを出していただくと番号札が渡されますので、「会計表示盤」にその番号が表示されたら、「自動精算機」でご精算ください。

お支払いは、「自動精算機」に診察券を挿入し、パネルの金額を精算するだけ。





OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。  
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す  
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- ① 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- ② 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- ③ 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- ④ 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- ⑤ 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- ⑥ 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。

「会計表示機」は、自分の会計状況や順番などが一目で分かる。



不明点等ございましたら、各機械ごとに総合案内(ゲストリレーション)が付いておりますので、操作は全ておまかせください。

このシステムにより、会計の待ち時間がぐっと短縮されるのに加え、「会計表示機」に会計準備が出来ている方々の番号が表示されていますので、窓口で確認

をする手間もなく、スムーズに精算を済ませていただくことができます。  
また、お薬が処方された場合は、領収書に処方箋引換券が付いて出てきますので、窓口にお持ちください。処方箋をお渡しします。なお、かかりつけ薬局がある方は、「院外処方せんFAXコーナー」で予めその処方箋を送信しておくことで、薬局での待ち時間が短縮されます。FAXには全国の薬局が登録されているので、ワンタッチでご希望の薬局に送ることができます。  
新システムでご不便がからないうように、私たち総合案内(ゲストリレーション)が待機しております。お気軽にお声がけください。

GUEST RELATION

— 総合案内 —



私たちが全てご案内いたします。



**MEDICINE**  
for **H** **HEALTH**

知ってよかった「お薬豆知識」講座  
講師：京都九条病院 薬剤部係長 薬剤師  
國永 智昭  
Tomooki Kunitaga

**お薬手帳を活用して  
安心にお薬を  
服用してください。**



当院では、入院患者さんの持参されたお薬の内容を確認して、安全使用上の問題点などを整理し、その情報をもとに医師が入院時に必要なお薬を選択しています。これは患者さんが入院中、安全に持参薬を服用するために欠かせない仕事です。その中で、10種類以上の薬を持参されるケースが良くあります。血圧の薬、糖尿病の薬、高脂血症の薬などいろいろな種類の薬を多数飲まれています。

こうした多剤処方、高齢者の方で特に多く、時に20種類を超えた薬を飲まれている方もおられます。もちろん、複数の疾患、複雑な病態に合わせて必要なことがほとんどですが、中には、飲まなくても問題がない薬や安全使用上、適切でない薬の処方が含まれていることもあります。

薬の種類が増えると、きちんと管理がされていない場合、飲み間違いや飲み忘れの危険性が高まります。副作用の心配だけでなく期待した効果が得られない場合もありま



す。実際に飲めずに余った大量の残薬や数年前に処方されて、今は必要ない薬を見かけます。

また、薬の種類が増えると、当然副作用の危険性が高くなり、種類や効果が同じ薬を不必要に重ねて飲む重複処方や、相互作用といつて薬の飲み合わせが良くない処方にも注意が必要です。

このように、多剤処方は、安全にお薬を飲むことの妨げになる場合が多いといえます。特に、同時に複数の医療機関を点々と渡り歩くこと、いわゆる多重診療がその原因となることが多く、そのことが医療機関に伝えられていないケースでは要注意です。お薬を安全に飲むためにも、こうした多重診療による多剤処方を防ぎたいものです。

そのためには、お薬手帳の活用が有効です。お薬手帳は調剤薬局や病院の薬局でもらえるもので、複数の医療機関で処方された薬を一括して管理することができます。有効に使えば、今飲んでる薬の内容を正しく医療機関に伝えることができるため、薬の重複や相互作用も未然に回避することができます。また、薬の量を減らすことにもつながり、飲み忘れや飲み間違いの防止にも役立ちます。

お薬を安全に安心して飲むためにも、薬の種類や量が多い方は、一度、医師や薬剤師に相談してみたいかがでしょうか。医療機関を受診される際には、お薬手帳を忘れずに持参することが安全の第一歩です。

**R** **EHABILITATION**  
for **H** **HEALTH**

地道にコツコツ「健康運動」講座  
京都九条病院  
リハビリテーション部

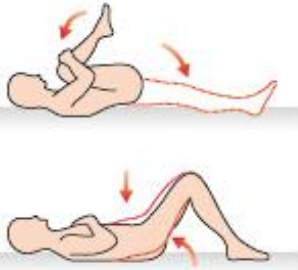
**腰痛は再発に要注意！  
毎日の運動が大切です。**



今日は寒いし、腰がね...という声が開き出てくる季節になりました。ちょっと腰が痛いくらいで病院に行くのも...でも、何とかしたい。今回は、そんな腰痛に関するお話とその予防法の一例をご紹介します。

腰痛は、実に80%以上の人が一生のうち一度は経験するといわれている疾患です。「腰痛」と聞くと、田舎の農家のおじいさん、おばあさんが腰を曲げて...というイメージがありますが、実は都会で生活している人の方が多いです。必ずしも、腰が曲がっているから痛い。というわけではないようです。

腰痛を経験した人の多くは、1〜2か月で症状が改善します。そのため、ちょっと痛くても我慢がちですが、問題はその後再発率が高いことです。腰痛が改善した人の約70%が、1年



以内に痛みの再発を経験しています。しかも、再発する度に症状が改善しにくくなり、その結果、慢性的な腰痛が出来上がってしまうのです。そのため、腰痛は、再発予防が非常に重要になります。

では、どのようにすれば腰痛を予防できるのでしょうか。残念ながらその明確な答えはまだ分かっていません。しかし、ストレッチは、腰痛の再発予防に有効だと言われています。特に、腰が痛くなった後は、太ももやお尻の筋肉が硬くなっていることが多いので、一般的に上図のようなストレッチが行われています。

大切なのは、腰の痛みが落ち着いてから、痛くない範囲で、毎日少しずつ行うことです。痛みがなくなったら治つたとは思わず、毎日コツコツストレッチすることが腰痛予防の第一歩です。







ライダー仲間とのツーリングに夫婦で参加した時の1枚とサーキット走行時の1枚。愛車とともにゆったりと風を感じながら、時には風を切りながら走るひときは、私にとって大切な時間になっています。



バイクで走る爽快感は格別。  
ライダー仲間との  
ツーリングやレースも  
楽しみです。

FACE  
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ◎

京都九条病院 副院長  
松井 淳琪  
Junki Matsui



京都九条病院の副院長として病院全体の管理を行うと共に、麻酔科医として麻酔管理を担当しています。いつ患者さんが来られても、安全に手術が行えるように万全の準備を整えています。

私のリフレッシュ方法はバイクで走ることです。何といても全身に風を受けて疾走するときの爽快感は格別。空調の整った空間では感じることの少ない暑さや寒さ、自然の空気を肌で感じることも大切と、少々厳しい気候でもバイクで通勤しています。

バイクの免許は若い頃に取得していたもののしばらく乗っていませんでした。再び乗るようになったのは患者さんとの交流がきっかけ。大型バイク専門店のオーナーが当院に入院されたことがあり、その時にバイクの話

で意気投合し、一緒に楽しむようになったのです。そのうち徐々にライダー仲間も増え、いまではハーレーでサーキットを走るというユニークなチームもできて、時間があるときは鈴鹿ツインサーキットや岡山国際サーキットなどで活動をしています。

バイクという共通の趣味を通して大勢の仲間に出会えたことも大きな喜びです。ツーリングやレースでは、家族ぐるみの交流もあって楽しいんですよ。こうしたリラックスできる時間も上手にとって、仕事と私生活が充実した、バランスの良い生活ができるように心がけています。

LOVE  
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ◎

京都九条病院のいいところ。  
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のことが好き!!

好きな言葉  
favorite word  
「思いやり」  
城 奈緒子  
リハビリテーション部  
作業療法士



先輩が熱心に指導してくれることです。この仕事に就いて一年弱。患者さんの症状や要望に的確に対応するには自分の知識が足りないことを痛感する日々。そんな私に先輩方は優しく分かりやすく教えてくださるので、少しずつ自信も付いてきました。思うようにいかないこともあります。患者さんから感謝の言葉をもらったりすると、療法士になってよかったと実感します。頼られる作業療法士になるのが目標。将来は訪問リハビリにも携わりたいと思っています。

好きな言葉  
favorite word  
「一言芳恩」  
迎 若菜  
事務部 医事課



スタッフの皆さんが優しいんですよ。地域に密着した医療サービスを提供する病院に共感して転職してきたばかり。医療の仕事は分からないことも多いのですが、質問するとすぐ答えてもらえるし、納得するまで教えてもらえるので、環境に恵まれていると感じています。受付を担当していて患者さんが来られて最初に接するのも、帰られるときに見送るのも私たち。不安な患者さんの気持ちを和らげたり、患者さんの疑問に対応できる職員になればと色々学んでいます。

好きな言葉  
favorite word  
「笑顔」  
藤田 麻美  
看護部 3階病棟



退院後の生活を見据えた看護を提供しているところが素晴らしい。安心して退院していただけるのは私たちにとっても嬉しいことですし、看護にもやりがいを感じます。病棟には様々な患者さんが入院されるので、専門分野だけでなく幅広い知識が必要です。新人教育がしっかりしている上、勉強会や研究発表会なども開かれているので、その点も有り難いですね。もっと学んで力を付け、この看護師さんが担当で良かったと思ってもらえるような看護師になりたいです。

好きな言葉  
favorite word  
「感謝」  
三王寺 敏明  
検査部 臨床検査課  
臨床検査技師



何と言っても仕事にやりがいを感じる職場なんです。自分の検査が患者さんの役に立てていると思うと、誇らしい気持ちになります。とはいえまだ未熟なところもあり、ときには先輩から指摘を受けて落ち込むことも。そんなとき、患者さんから「ありがとう」と声をかけてもらうと元気が出て、「よし頑張ろう」という気になります。検査技師を選んだのは「病気を見つける」ことができる仕事だから。早く一人前になって、どんな小さな疾病も見逃さない技師になりたいと思っています。





院内散策  
さんさん

③ 『第10回京都九条病院 病診・病病連携セミナー』

主催 京都九条病院

平成27年10月24日(土)、京都東急ホテルにて、「第10回 京都九条病院 病診・病病連携セミナー」を開催いたしました。これは、地域医療サービスのさらなる充実を目指して、当院と地域の病院・診療所との連携、また当院内のスタッフ間の連携を促進するために行っています。

セミナーは、山本院長の開会挨拶で始まり、第1部では、梅原副院長が新しく導入した「電子カルテシステム」について説明を行いました。

「電子カルテ」を運用することのメリットを詳しく解説し、さらに地域の方々によりきめ細やかで質の高い医療サービスを提供するための地域連携システムの実現に向けてIT基盤整備を進めていることを発表。このIT基盤整備には参加者から高い関心が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。

続いて、放射線科の橋本係長より、MRI・CTのアップグレードについて解説。MRIは最大同時受信チャンネルが48ch



へと多チャンネル化したことで画質精度が飛躍的に向上、マルチスライスCTも多列化して機能が高まり、撮影時間が短縮されたのに加え被曝も低減され、患者さんの負担が大幅に軽減したことを説明しました。

次に、皮膚・排泄ケア認定看護師の看護部釜子課長が、褥瘡対策の実施状況を報告。院内での褥瘡患者の推定発生率をより抑える事を目標に、褥瘡対策委員会、褥瘡回診、院内勉強会等を定期的に行って褥瘡対策に関する知識・経験の維持向上に努めていることなど具体的な取り組みを紹介、予防対策の重要性を訴えました。

第2部では、平井脳卒中センター長が「急性期脳梗塞の最新

治療」と題して講演。当院で行っている脳梗塞の急性期治療について、血栓溶解療法、またそれらと組み合わせたカテーテル治療を行うなど、開頭手術を含む最先端治療を提供していることを説明し、脳梗塞を発症した患者さんが後遺症を残さないようにするには早期発見・早期治療が肝要であり、そのためにも地域の病診連携・病病連携をさらに強めていきたいと述べました。

京都九条病院では、これからもこうしたセミナーを開催するとともに、あらゆる機会を通して地域の病院・診療所との連携を強め、地域の方々が安心して暮らしていけるよう、サポート体制の充実を図ってまいります。



医療法人同人社団 京都九条病院 〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10 TEL 075-691-7121(代)

医療法人同人社団  
介護老人保健施設 マムフローラ  
〒617-0853 京都市長岡京市森海町寺島/25-2  
TEL 075-959-3388(代)

医療法人同人社団  
介護老人保健施設 マムクオーレ  
〒601-8326 京都市南区吉祥院南清会町40-3  
TEL 075-691-7755(代)

医療法人同人社団  
介護老人保健施設 マムクオーレII  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10-38  
TEL 075-694-6655(代)

医療法人同人社団 京都九条病院  
訪問看護ステーション・マム  
〒601-8454 京都市南区唐橋藤屋町16  
TEL 075-691-3820(代)

医療法人同人社団 京都九条病院  
訪問リハビリテーション  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10  
TEL 075-694-6644(代)

医療法人同人社団  
ヘルパーステーション マム  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10-38 マム・スクエア内2階  
TEL 075-694-6622(代)

京都市唐橋地域包括支援センター  
京都市唐橋地域包括支援センター介護予防支援事業所  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10-38 マム・スクエア内1階  
TEL 075-694-6222(代)

医療法人同人社団  
居宅介護支援マムステーション  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10-38 マム・スクエア内2階  
TEL 075-694-6699(代)

医療法人同人社団  
ショートステイ マム  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10  
TEL 075-691-7667(代)

医療法人同人社団  
同仁会クリニック  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30  
TEL 075-691-7766(代)

医療法人同人社団 同仁会クリニック(併設)  
同仁会疾病予防研究所  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30  
TEL 075-691-5070(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)  
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN  
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30  
TEL 0120-558-756